

●北総鉄道2020年度(上期)決算

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度上期は大幅な減収・利益は半減

北 総 鉄 道 (上 期) 決 算 に つ い て

2020年度上期は、新型コロナウイルス感染症の影響と前年の消費税率引き上げに伴う先買いの反動減により、定期外旅客は、前年同期比230万4千人、37.3%の減少、定期旅客についても、前年同期比308万9千人、21.7%の減少となり、定期・定期外合わせた輸送人員合計は前年同期比539万3千人、26.4%の減少となりました。

表① 輸送人員と旅客運輸収入

		2020年度上期	2019年度上期	増減数	増減率
輸 送 人 員	定期外	千人 3,873	千人 6,177	千人 △2,304	% △37.3
	定期	11,139	14,228	△3,089	△21.7
	合計	15,012	20,405	△5,393	△26.4
旅客運輸収入計		百万円 4,614	百万円 6,563	百万円 △1,949	% △29.7

営業収益は、輸送人員の減少などを受けて64億8千2百万円と、前年同期比25億7千7百万円、28.4%の減収となりました。

営業費用については、これまで施設・設備の老朽化対応としてリフレッシュ工事などを集中的に実施してまいりましたが、この新型コロナウイルス感染症の影響を受けて来年度以降に先送りするなど費用削減に努めた結果、52億8百万円と前年同期比14億2千8百万円、21.5%の減となりました。

以上により、営業利益は12億7千3百万円と、前年同期比11億4千9百万円、47.4%の減益となりました。

また、経常利益は10億5千3百万円と、前年同期比11億4千1百万円、52.0%の減益となり、法人税等を差し引いた四半期純利益も、7億4千8百万円と前年同期比7億7千7百万円、50.9%の減益となりました。

当社を取り巻く経営環境は、輸送人員は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も厳しい状況が続くものと考えております。引き続き一層の費用削減に努めて、経営の安定化に努めてまいります。

表② 比較損益計算書

(単位：百万円)

	2020年度上期	2019年度上期	増減額	増減率(%)
営業収益	6,482	9,059	△2,577	△28.4
営業費用	5,208	6,636	△1,428	△21.5
営業利益	1,273	2,422	△1,149	△47.4
営業外損益	△220	△227	7	3.1
経常利益	1,053	2,195	△1,141	△52.0
四半期純利益	748	1,525	△777	△50.9

表③ 貸借対照表

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
	百万円		百万円
資産の部		負債の部	
流動資産	12,632	流動負債	8,887
固定資産	82,866	固定負債	65,377
		負債の部合計	74,264
		純資産の部	
		株主資本	
		資本金	24,900
		利益剰余金	△3,666
		純資産の部合計	21,233
資産の部合計	95,498	負債及び純資産の部合計	95,498

以上